

令和6年度 研修指導センター事業計画

I 基本方針

研修運営を通して県内の介護職員及び法人職員の人材育成を図り、福祉サービスの質の向上を目指すことで、共生社会の一翼を担うことを目的とする。

II 事業内容

1 法人内部の職員育成

(1) キャリアパスに連動した研修体系を構築し、職員の意欲向上とスキルアップを目指す。

(2) 法人内研修の実施

ア 階層別研修

各階層ごとの職務遂行に必要な知識の習得と意識を涵養し、運営と経営の視点を有した次世代を担う人材を育成する。

研修名	内 容	実日数
規採用職員研修（採用時）	法人理念・沿革・就業規則・中長期計画、SDGs・接遇・利用者体験・仲間づくり等	2日
新規採用職員 フォローアップ研修 （入職6か月後）	振り返り・仲間づくり・記録と報告書作成の基本	半日
中堅職員研修（在職中）	法人理念・メンバーシップ・中長期計画・リスクマネジメント等 ◎在職中に目的別研修を年1回受講	半日
主任研修1（昇任時）	法人理念・中長期計画・主任の役割・OJT・記録と報告書作成の基本等	半日
主任研修2（主任4年目～）	法人理念・中長期計画・リーダーシップ・振り返り	半日
主任研修3（主任在職中）*	労務管理（休暇・ハラスメント等）	半日
主任研修4（主任在職中）*	経営管理（財務諸表・加算・物品購入等）	半日
主任研修5（主任在職中）*	コンプライアンス（個人情報等）	半日
サブリーダー等研修 （昇任時）	法人理念・中長期計画・チームビルディング・リスクマネジメント・ストレスマネジメント等	1日
グループリーダー等研修 （昇任時）	外部研修 介護労働安定センター：雇用管理責任者総合コース （雇用・賃金・労働条件・就業規則・社会保険・雇用管理等）	半日
所属長級研修（昇任時）	外部研修：県社協施設長研修 （法人の経営改善と経営者の役割） ◎グループリーダー・課長から所属長に就任した場合	2日

*主任研修3～5は3年を1サイクルとし、今年度は1、2、4を実施する。

イ 目的別研修

法人内の横断的業務や今後の事業展開に活かせる知識や技術を習得する。

研修名	内 容	実日数
① 採用後3年目研修	法人理念・関係づくり・振り返り	半日
② 認知症ケア研修	高齢者施設の認知症介護指導者が実施	半日
③ 事例検討研修	各所属の事例（個別ケア等）について法人全体で検討する	半日
④ マネジメント研修	福祉サービスにおけるマネジメント（佛子園の取組み）	半日
⑤ 虐待防止・身体拘束研修	虐待・身体拘束の理解	半日
⑥ OJT研修（SL以上） *	OJTの理解	半日
⑦ 感染症研修	感染症の知識と予防	半日
⑧ 人事評価者研修	人事評価の理解（評価者の面接について）	半日
⑨ 高齢者・障害者施設の理解	関係法令・運営規程・支援計画等を通しての事業理解	半日
⑩ メンタルヘルス研修	ラインケアについて（GL・課長、SL・寮長）	半日
⑪ 実務研究助成事業・報告会	職場における研究活動とその報告 SDGs・地域貢献事業への取組み紹介	半日
⑫ その他必要な研修	カスタマーハラスメント他	

*①OJT研修（SL以上）②OJT研修（主任以下）③接遇は3年を1サイクルとする。

ウ 実務研究助成事業

日々の実務の中で直面している課題の研究に対して助成を行い、サービスの質向上に取り組む姿勢を支援する。報告会の実施により、研究成果の共有とプレゼン能力の向上を図る。

エ 認知症介護指導者の育成

県から受託している認知症介護等研修を効果的かつ安定的に実施するため、法人内から認知症介護指導者養成研修を計画的に受講させ、県内の認知症ケアに携わる人材の育成に貢献すると共に法人内の認知症ケアのスキルアップを目指す。

2 地域の福祉力向上に貢献する事業

(1) 群馬県健康福祉部に係る研修業務受託と認知症介護指導者の事務局としての役割

ア 受託研修

高齢者ケア専門研修、認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、認知症介護フォローアップ研修、認知症対応型サービス事業開設者研修、認知症対応型サービス事業管理者研修、小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修、喀痰吸引等指導者講習、ぐんま認定介護福祉士養成研修、権利擁護推進員養成研修を継続して受託する。

イ 認知症介護指導者との連携

群馬県認知症介護指導者の事務局として、認知症介護研究・研修東京センターの世話人会への参加や指導者への情報提供、県内指導者打合せ会、勉強会等の企画運営を行い研修内容の充実と指導者間の連携を図る。

(2) 地域団体に向けての介護や認知症に関する講習等の実施

ア 要請があった地域団体に向けて介護や認知症に関する基本的な講習会を行う。

イ 指導者派遣事業として、申請があった事業所に対して認知症ケア研修等を実施する。

(3) 明風園サロンぼるかの運営実施に協力し、地域貢献に努める。

Ⅲ 本年度の重点的取組と数値目標

1 研修の円滑な運営

時代に即し、且つ遠方の受講者への負担軽減として、Zoomでの研修を継続する。今年度は高齢者ケア専門研修（5研修）と認知症介護実践者研修（第3回・第6回）、認知症対応型サービス事業管理者研修（第1回）の計8研修をZoomで実施予定。

2 受託研修に於ける受講者数の確保

県と連携を密にしながら、感染症等の状況に応じてオンラインへの切替え等を適時実施すると共に、チラシ配布や機関誌等への掲載等広報に注力し、受講者数の確保を目指す。

3 数値目標

研修別受講者数（人） * R5年度実績はR6年1月までの実績+3月までの見込み				
受託研修等	認知症介護等研修	ぐんま認定介護福祉士養成研修	権利擁護推進員養成研修	指導者派遣事業（派遣回数）
R6年度目標	1, 160	20	45	10回
R5年度実績	963	23	40	27回
R4年度実績	833	23	29	27回

・ぐんま認定介護福祉士養成研修は聴講者数を含まない。